モンロー体験記

―覚醒のかたち―

これは、米国モンロー研究所のヘミシンク技術によって意識の拡大を体験した前里光秀本人による記録です。

前里は、左記にあるアクアヴィジョン・アカデミー主催の宿泊プログラムを受講しました。当時、ＳＮＳサイトにそのときの体験を綴ったものを修正編集したものです。

《参加プログラム１》　『ガイドとの邂逅』（静岡県熱海市にて、２００７年７月開催）

《参加プログラム２》　『ゲートウェイ・ヴォエッジ』（米国モンロー研究所にて、２００７年１２月開催）

この体験の後、前里はスピリチュアルカウンセラーとしての活動を始動し（後の前里光秀研究所）、２０１１年１１月には宇宙意識ＳＡＮと交信するフルトランスチャネラーとなり、２０１６年９月には病気や痛みを癒すスピリチュアルヒーラーとなりました。（プロフィール詳細は、最終ページにあります）

この内容について、当時のプログラム主催者アクアヴィジョン・アカデミーへのお問い合わせはお控えください。

何かございましたら、弊社までお問い合わせください。　０１２０（３６５）５３１　maesatomitsuhide@lion.ocn.ne.jp

株式会社　前里光秀研究所

『モンロー体験記　―覚醒のかたち―』

―　内容　―

【未来と過去は映写機のフィルム】

【オーラ写真の結果】

【モンロー体験記　第１話】
●ロバート・モンロー登場
●ロ々に存在たちは言う「時間がない」

【モンロー体験記　第２話】
●体外離脱で意識体を引っ張り出す
●侍の過去世が及ぼす感情のブロック

【モンロー体験記　第３話】
●モンローから聞いた僕の役割

●僕が決断すると、拍手が沸き起こった
●参加者の後ろにいたたくさんのガイドさん
●モンローからのメッセージ　Ｑ＆Ａ

【モンロー体験記　第４話】
●突然現れた観音様
●伊勢神宮が見せてきた「鏡」
●ある存在からのメッセージ
●母親の自殺からはじまった僕の人生
●仲良くしてくれた、あるお医者さんとのご縁

【モンロー体験記　第５話】
●お医者さんのガイドからの依頼
●みんなを連れてアカシック・レコードへ
●カフェで見た鎧兜を着たガイドの日常
●イマジネーションを刺激し、ビジョンを見えやすくする
●ケイシーからのメッセージ　Ｑ＆Ａ
●アカシック・レコードで見た本のタイトル

【モンロー体験記　第６話】

●ある意識体の女性へ告げた未来
●３Ｄパイプとともに見た浄化のカウントダウン
●ガイドが教えてくれたヘミシンクでメッセージを受け取る方法
●水晶の先の柵あたりには妖精がいる
●黒い煙となって見える悪口や文句

【モンロー体験記　第７話】
●初めてモンローに出会ったとき
●吹き抜けの向こう側に、龍が現れた
●見知らぬ存在が突然始めた「脳の工事」
●脳の工事で、ビジョンがさらに見えやすくなった
●ある女性の未来の本人が教えてくれた未来
●シスターのガイドをもつ女性とのシンクロ
●みんなの中にもある覚醒のサイン

【モンロー体験記　第８話】
●宇宙ステーションの中で見た存在たちの仕事
●山積みになっていたこれから出会う方々のカウンセリング資料
●未来をつくるユニークな非物質の存在たち
●偶然のように出会うこと自体に意味がある
●出会ってすぐ意気投合した過去世で双子だった女性

●インディアン時代の過去世が今世に与える影響
●カルマならば、苦労を苦労と思わず頑張ろう

【モンロー体験記　第９話】
●モンロー体験記を読むと起きる胸のスースー感
●自分をオープンにすると、何かがはじまる

【モンロー体験記　第１０話】
●伊勢神宮の真相を探る旅
●神に仕える者たちの絵と懐かしいビジョン
●天照大神の拝殿で起きた不思議な出来事
●映像で見せられたところは、すべてここだった
●波動とは、言葉 ―― 「自分自身が鏡になること」

【モンロー体験記　最終話　―覚醒のかたち―】
●家のトイレにいた、友人の亡くなったおじいちゃん
●体外離脱で体験した死にゆく人の意識
●離婚・不登校・居候…問題を解決する死者との対話
●視えた子どもの未来に導く塾での指導
●すべては人類の意識向上のために

【未来と過去は、映写機のフィルム】　２００７年７月２６日１４時４５分投稿

セミナー終わって帰るときには、すれ違う方の過去世の映像がＭａｘ状態で映りました。映写機のようにあっちこっちから何百枚もの映像が頭に飛んで入ってきました。正直、頭痛かったです。

また、熱海では龍がいました。飛行機で沖縄に向かっている途中に、ふと外を見ると真横にこっち見ながら飛んでいたんです。僕はびっくりして…機内ビールを買って急いで寝ました。

そこらへんから始まりました。

沖縄に着いて奥さんに詳しく話をしながら、「江原さんみたいだね～」とか冗談とか言っていました。それじゃあ試しに友達の写真を見て分かるかどうか、やってみようということになり、見たら…。

なぜか勝手に、次から次へと映像が出てきて見えるんですね(笑)。本当に、思わず笑うしかなかったですね～。

1週間もするとだいぶ落ち着きました。しかし今度はいろんな場面で人の映像が見えるようになったんです。なんだろうと思っていると、そこに映像で見た生徒たちが次から次へと入塾してきたんですね。

さすがにびっくりして考えていたんですが、「じゃあ自分から意識して見てみよう」と考えました。そこで気が付いたんですが、なぜか未来も多少見ることができるということを知りました。今では、いろいろ見ています。

いつ何名の生徒が入塾するか？最近は、3～4日前に分かります。経営的にはすごくありがたいので、感謝しています。

もしみなさんが誰かに会ったとき、その方の正面から見て左に見える映像は過去世です。また、右に見えるのは未来です。参考にしてみてください！しかも、顔に近ければ近いほど、その方の「近い未来」です。あと頭の上に見えるのは、「現在」です。今日から2～3日後ぐらいに起こることです。

こんな感じではありますが、僕は至って健康です。みなさん心配しないでくださいね。

では、またの機会に。

【オーラ写真の結果】　２００７年１２月１４日１７時１分投稿

５月に参加してから、本当に多くの変化がありました。

その中でも一番変わったのは、オーラ写真でした。今年はじめにオーラ写真を撮ってみたら、オーラは真っ赤でチャクラが赤でした。それが今回は、金色と黄色に変わっていました。

その中でも眉間にある第６チャクラは金色になっていました。たぶんヘミシンクのセミナーに参加すると、いろいろ変わるんだと思います。

ぜひ、試してみてください。

【モンロー体験記　第１話】　２００７年１２月１４日１７時１分投稿

● ロバート・モンロー登場

初のモンロー研究所、すごいですね！やっぱり！みなさんにも、ぜひ参加して欲しいですね。

それで、今から体験を書いていきます。いろいろ体験できたので、少しずつ書いていきたいと思いまーす。

まず最初に感想から言いますと、モンロー研究所はさすが故ロバート・モンローの家なので、モンローがよく来ます。来るというか、ほぼ毎セッション中に来ていました。

5月に熱海でお会いしてから何度か会ってはいたんですが、そのときはゆっくり話をすることはできませんでした。だから今回はぜひ、ゆっくり会話をしたいと思い参加しました。そういう意味では、すごく意味のある体験ができました。

モンローは、人柄はすごく優しさいっぱいで、ゆっくりお話する方でした。お話の中で僕がいろいろなお願いをされるんですが、それも強圧的ではなく、肩を組んできたりポンポンと叩きながらでした。

僕を諭すように、何回も何回も話をしてきてくれました。

● 口々に存在たちは言う「時間がない」

その中でも、あちらの事情が分かることがありました。毎回毎回「時間がない」という言葉だけは欠かさず言っていましたね。後で詳しく書いていきますが、どうやら“アセンション”というものが２００８年には急激に始まるということでした。

そのためにいろんな方のガイドさんが話をしに来られました。

そのみなさんも「時間がない」という話をされていましたし、ガイドさん同士も時間がなさそうに話していました。どのくらい時間がないと言われているのか、分かりやすい出来事があったのでお伝えしますね。

ブリーフィングをしていると、ある方のガイドさんが僕に見えるように出てきました。熱海のときと同じように。その後はいろんな映像を、半ば勝手に送ってきました。

そういう中でセッション中に体外離脱したときのこと。僕はある部屋にすごい力で引っ張られていったんです。

そのときは何も恐怖心もないので安心でした。でもその部屋に行ってビックリしたのが、なんとガイドさんが１名ではなく「６名」いたんです（笑）。

本当に、どんだけ～～～？？って感じだったんですが（笑）。

しかしそのガイドさん達があまりにも話す情報量が多くて、全然全員まで回らなかったんです。結局２名のガイドさんと話した段階でセッシ

ョンが終わったんです。そのときに待っているガイドさん同士で話をしていたのを見たので、よく考えると面白いな～って思いましたね。

本当に不思議すぎて変な感じです。でもそのような事は1回ではなかったということと、話した内容が個人的にしか分からないようなことだったので、間違いないと思っています。まっ、そんなこんなで「今はすごく時間がない」ということでした。

うまく書けないので長々となりました。

また次回からも少しずつ書いていきますので、みなさんヨロシクです。

【モンロー体験記　第２話】　２００７年１２月１８日１６時４６分投稿

● 体外離脱で意識体を引っ張り出す

また今回も少しずつ書いていきますので、よろしくお願いします。

前に少しお話したんですが、ロバート・モンローはとてもいい方でした。ほぼ毎回のセッションで来てくれていました。その中である事があったのでご報告しますね。

その前に、部屋のつくりについて書いておきますね。

モンロー研究所では、1部屋に2つから3つの畳1畳分ぐらいのユニットがあります。その中には頭上にスピーカーが1つあって、セッション毎にミッツィのアナウンスで指示が来たりします。

また、ユニットの入口は黒い布で閉じることができるので、しっかりプライベート空間としても問題はありません。閉じると完全に暗くなるので、天井にあるランプを点けます。すると薄暗く光るので、セッション中には目を開けてノートに記録を書くこともできます。

だいたい部屋はこんな感じです。

話は僕の体験に移ります。その部屋の中でヘミシンクを聞いていたときのことです。

フォーカス10あたりになると、モンローが先ほど書いた黒い布越しに、ヌボ〜ッと顔だけで出てきました。正直、心地いいものではなかったですね。ノックがないですからね（笑）。

そこで僕は体外離脱状態で部屋を出ました。モンローと僕は部屋の真ん中に突っ立っている状態だったので、同じ部屋のHさんとSさんを、なんとなく連れて行こうと思ったんですね。

そこで部屋に入ってみると、今度は僕自身が真上からHさんの顔を覗いている状態でした（笑）。

そのときに困ったことが起きました。どうやれば人を体外離脱させることができるのかを誰にも聞いていなかったんです。ですのでしばらく考えて、「ヨシ！引っ張り出そう」と閃いたんですよ。

少し乱暴ですが、足元に行って足を引こうと思ったんです。でも、さすがに怖いだろうと思って頭からに変更しました。そのときモンローは待っていましたね、普通に。

そして、僕はドキドキしながら両手でHさんの脇のところを引っ張りました。すると、スーーーッという感じで、簡単に出てきました。重みみたいなのも感じましたね。正直、面白かったです～！！

Hさん自身は、もちろんビックリしていました。でもモンロー含め3名で立っている状況を見て、緊張した感じで少し笑っていました。

その後、もう1人のSさんのところに行きました。Sさんはすごく恐怖心みたいなのが強いと話していたので、真横から両手で引っ張り出しました。

するとSさんは自分自身の手を見たり、足を見ていました。エ～ッ？って感じで、すごく驚いていましたね。ただせっかく頑張ったのに、後で聞くとSさんは体外離脱したことすら分かっていなかったですね。

でもＨさんは、自分と行動したことなどはブリーフィング中に話していたので、なるほどなと思いました。そのとき分かったのが、誰かが誰かの体外離脱を手伝うことは可能なんだということでした。とてもいい発見でした。

でも、Ｈさんもモンローが一緒だったことは憶えていませんでした。この後も、体外離脱をしていないＨさんを僕が勝手に引っ張り出しては一緒にフォーカス２１とかに行きました。これはいろいろ楽しい経験の中でも、上位に入るいい思い出になりましたね。

バタバタしていたので、全員を引っ張ることはできませんでした。

トレーナーではなく、これを専門にするサポーターみたいなスタッフがいると、体外離脱がより簡単になります。そうすれば、もっとヘミシンク人口が増えやすいかなと思いましたね。そしてその後、４人で普通に歩いて外に出ていろいろ話をしたりしました。

ただこのときは、僕も話の内容が飛んでいます。何を話したかは憶えていません。

● 侍の過去世が及ぼす感情のブロック

ちなみにその同室のＳさんは、これまでいろいろとヘミシンクも聴いてきたそうです。また、気功のようなセミナーにも参加したそうです。Ｓさんは感情のアップダウンとかあるそうで、一番にはいきなり悲しくなったり、いきなり怒ったりするものを解放したいと話されていたんですね。

それを聞いていたので、少しでも協力できないかなと思っていたんです。

だからあるとき体外離脱をして、Ｓさんの部屋に行きました。一緒に行こうと思って真上から見ると、なんと胸のあたりを長さ２０ｃｍ～３０ｃｍで幅が３ｃｍくらいの黒いものが無数に、半時計回りにグルグルしていたんです。

すぐに、感情が解放されていない状態なんだと分かりました。人はそれぞれいろんな問題を抱えているものだと思いますが、その問題点を解放するのは簡単ではないんだなと思いましたね。本当に優しい方なんですが、Ｓさんのガイドさんからは過去生で侍の映像を見せられました。何人も何人も刀で殺してきたというのを、何度も見せられました。

そのせいか、昔から人に追われている感覚が強いとのことでした。

常に外では緊張している状態だとお話していたので、僕が見た黒いものとも繋がりました。ただ、体外離脱するとその人の波動を感じやすくなるのか、すぐに人のことを理解しやすくなっていたことも発見でしたね。

Ｓさんは、強く恐怖心があったんだと思います。体外離脱した状態で見ると、すごく人を寄せ付けない波動を放っていました。結局そのときは近づくことができず、退散しました。そのＳさんとはこの後も少し出来事がありましたので、次回書いていきます。

モンローとのやり取りがこの後あるんですが、今日は少し時間がないのとみなさんに伝えるべきメッセージ（世界、日本、アクアヴィジョンについて）があります。

ノートを見ながら、また今度正確に書きますね。長々と読んでくださって感謝感謝です。

【モンロー体験記　第３話】　２００７年１２月２０日１６時３８分投稿

●モンローから聞いた僕の役割

今回もモンローとのやりとりを書いていきますね。よろしくでーす。

前回にお話した中で、勝手に同室の方を引っ張り出した後のことです。１２月４日、モンローが何度も自分のところに来ている本当の意味が分かりました。

モンローに言われたことを、本当にやらなければいけないなと思った出来事がありました。

次のセッションでモンローが来たときは、なんとなく２人だけで話をしながら外に向かって歩いていきました。そのときは僕が左側、モンロ

ーが右側。そのときに肩を組んだ状態で「君には通訳という役割がある」「繋ぐ・癒す・中心だ」と言われたんです。

意味は、ガイドと本人を繋ぐこと。それによって人間が癒され、その事が役割の中心であるということ。

僕はそのときも、本当にそんなことができるのかという不安と、アメリカまで来ているし時差ボケで少し興奮状態なのかな～と、なんとなく思っていたんですね。

すると、モンローが正面から自分の両肩に手を乗せてきたんです。

そして真剣な顔で、「時間がないので、心をそこに向けて欲しい」「これから君は多くの人を救う」「だからそのためにも、もっと（自分自身を）解放する必要がある。頑張って欲しい」と言われました。

なんとなく嬉しくなってしまい、「分かりました！やります！」と言ったんです。

● 僕が決断すると、拍手が沸き起こった

そうしたら、「ワアァーーー」って聞こえたので、歩いている先の左側にあるモンロー研究所の水晶のところを見ました。すると地面・空中・上空…空いっぱいに渡って数千人の人・人・人。

たくさんの人たちが、「おめでとうー！」「ありがとうー！」って言いながら、嬉しそうにパチパチ手を叩いていたんです。

その中には、同じく参加していた9期生も全員いました。全然知らない外国の方もたくさんいました。びっくりしてモンローのいる右側を見ると、モンローは両手を広げてはにかみながら、「こういうことだよ」と言っているかのよう表情で自分を見つめていました。

自分はなぜか、何もしてもいないのに涙が止まらなくなってしまって…。感動というのは、あれを言うんですね～。今、思い出してもウルウルしてしまいそうです。

そんな僕に向かってモンローが両手を僕に向けた途端、青いビームというか穏やかな流れでエネルギーが来ました。なんだろうと思っていたら、そこにいた全員が僕に向かってそのエネルギーを送り始めたんですね。

そしたらまたさらに体が熱くなって涙が止まらなくなってしまい、起きたときには泣き疲れていました（笑）。

その後のブリーフィングで、同室の方がこんなシェアをしていました。モンロー研究所の水晶の上に乗ってたくさんの人がいて、自分もその中にいましたと。でも何をしていたかは憶えていませんと報告していました。思わず笑いましたね。

● 参加者の後ろにいたたくさんのガイドさん

もうそれからですね。みんなで集まっておしゃべりができるフォックスデンと名付けられている場所があるんですが、体外離脱した瞬間に、そこに引っ張られて各ガイドさんと面談をさせられたのは（笑）。

その場所に引かれて行ったときに、僕のガイドが入口にいました。おぉーっと思いました。それで、「さっきモンローから通訳やるとかって言われたんだけど、大丈夫かな？」「どうしたらいいの？」と聞いたんですね。

すると「来年からやることは決まっている！」ってだけ言われました。そして、いきなら回れ右をさせられたのでそこを見ると、他のガイドたちが並んでいたんですね。ここは前に少し書きましたが。

順番に、ある女性の日本の着物を着たガイドさん。黒服を着たイギリス人男性で髭男のガイドさん。現在新宿でお医者さんをしている方のガイドさんは、鎧兜を着ている方。アフリカ人男性のガイドさん。朝鮮の高貴な位の高い男性ガイドさん。日本人の浪人武士のガイドさん。イギリス人と浪人武士は同室の方のガイドさんでした。

このときは2名の方からしかお話を聞けませんでした。

しかもどんどんどんどん話してくるので、覚えられないなと思いました。そのガイドさんに何度も暗唱しながら、「これとこれと、このことを伝えたらいいんですね？」とか確認していたにもかかわらず、たくさん忘れてしまいました（笑）。

とても困ったので坂本さんに相談しました。すると、「だったら寝て聴くんじゃなくて、少し灯りを点けながら座ってやったら？ノートも開

いて右手にはペンを持った姿勢でやるといいんじゃない？」とのアドバイスをもらいました。

その次からは、ほぼ書き留めることができるようになりました。

情報が多い場合は、ガイドに「メモするので少し待って」と言うと、そうしてくれました。とても助かりました。ここまで書くと信じられないかもしれませが、みなさんもそうなってくるはずです。

でもでも、その中にあってもなおまだ確信が持てず。どうしようどうしようと暇あるたびに思っていたんですが、そういう中で次の日の朝のセッションで、また不思議な体験をしました。

●モンローからのメッセージ　Ｑ＆Ａ

その前に、モンローからもらった他のメッセージがあるのでお伝えします。毎回毎回時間がないと言うので、いろいろと質問したんですが…。

Ｑ．１　時間がないとは、何のこと？

Ａ．１　２００８年。

Ｑ．２　具体的には、何のこと？

A．2　アセンション。

Q．3　アセンションとは、何のこと？

A．3　各種々の意識の向上。

Q．4　全種類で意識が上がるのか？

A．4　違う。

Q．5　では、どうやってできるのか？

A．5　自由意志による選択。

Q．6　地球は、どうなるの？

A．6　バランスが崩れる。

Q．7　日本は、どうなるの？

A．7　四季が崩れ、噴火、地震、洪水が起こる。そして三峡？三こく？ダムが崩れる。食料問題と海面上昇が起こる。

（ダムに関しては、ハッキリしていません。調べると中国にそういうダムがあるそうです）

Q．8　全滅するのか？

A．8　しない。

最後に、「７８％」という数字を見せられました。しかし、意味は分かりません。

僕自身は、まったく日本や地球がおかしくなるなんて思ってはいません。ただ、「今、時間がない。時間がない」ということから考えて、少しずつ変えていけば何かが変わるのではないかと思っています。

そうでなければモンローもあそこまで働かないのではないんじゃないでしょうか？

デリケートな問題で、今はお話したくてもお話できないことがあります。

しかし最後に１つだけ。その中でも嬉しいのが、アクアヴィジョン・アカデミーがこれからすごく大きくなるそうです、そして今の問題になっているアセンションを世界中で力強く動かしていく中心は、日本人だということです。

これは僕自身、すごく嬉しかったですね！

みなさん一緒に頑張って行きましょうね。今回も読んでいただいて感謝です。

次は、心霊治療家のエドガー・ケイシーにアカシックレコードまで連れて行ってもらったことを書きます。どうもありがとうございました。

【モンロー体験記　第４話】　２００７年１２月２２日１３時５５分

●突然現れた観音様

今回はモンローとのやりとりというより、僕自身の体験談を書いていきます。よろしくお願いします。

正直このあたりから、少し信じられないような内容になっていきます。自分自身、不思議でならないのでしょうがないんですが。その中でも、少しヒントになるようなことがあれば幸いなので～思いっきり書いていきますね。

前回書いたように、６名のガイドさんに呼ばれて話を聞かされても、不安な心境でした。どうしよう、どうしようと考え込んでいました。その次の日にある事件…？あれはもう、僕の中では事件ですね！その話から始めていきます。

１２月５日、『バイブ・フロー・フォーカス１５』というセッションでのこと。

内容は、段階ごとに振動・バイブレーションを変えながら上げていくというものでした。昼食の後というのもあり眠かったので、あまり詳しく説明を聞いていないので…。

そのセッションも前回同様、入口の黒い布に向かいながら壁に背をもたれるかたちで座って聴いていました。すると額に、フッと息がかかり…？なぜかすごく眩しい…何で？？…と思い、しばらくして目を開けると、観音様がいました…。

顔だけキラキラと。

しかも３０ｃｍぐらい前、超至近距離…！

さらに驚いたのが、目を開けても閉じても同じということ。一瞬、なんか感覚が壊れたのかなという感じになりました。しかしすぐに、目を閉じていた方が映像ははっきり見えるということが分かり、そこからは目をギュッと閉じながら見つめていました。

しばらくするとスーーーッと下がっていき、僕との距離が３ｍほどになりました。そのときに冷静になって見ると、すごいんですね！何がすごいかというと、金色金色金色金色…なんです！

観音様はもちろんですが、放っているオーラ？いや、オーラというよりも何か手を伸ばせば少し触れられるんじゃないかと思うような、気体状のものが周りに降り注いでいました。本当に表現が難しいんですが、その金色は気体だけではなく、金色が強すぎるのか液体としても周り中に流れていました！

あれだけびっくりしている中、僕が思った最初の感想。「偉くなると、こんなになれるんだな～」と思ってしまったことを、今でも後悔しています。不謹慎というか、レベルが低い…残念。

そしてその観音様が、フッと消えました。

● 伊勢神宮が見せてきた「鏡」

すると今度は、伊勢神宮が出てきたんですね。ただそのとき、僕は伊勢神宮を名称ぐらいしか聞いたことなかったんです。でもなぜ分かったのかと言いますと、神社が見えてきたときに漢字で「伊勢神宮」と見せられたんです。

そして2カ所の映像を見せられました。その中で、「鏡」を見せられました。まさかこれは間違いだろうと思うと、その鏡が目の前近くまで接近してきました。否定させないような、強い意志が働いているような感じで見せられました。次は古いもので黒っぽい鞘に入っている「剣」を見せられました。

その2つは、その神社拝殿建物の入口前に並んで浮いていました。

そこに人影はなく、空気感が「朝早くの霧が晴れたすぐ後の、森独特のキリッとした感じ」で、とても緊張感がありました。そして先ほどの入口には、天皇家の菊の紋章が紫の布生地のものに2つ刺繍されていました。それは真ん中で括られていて、その入口に頭を下げながら入れるように形づくられていました。そして紋章の大きさは直径2mほどでした。

●ある存在からのメッセージ

そして！

その映像が見せられた後に、もっと衝撃的なことがありました。いきなりこう言われました。

「お前は古より、国を守りし器。
未来の安定を守るための者じゃ。
ここぞという…如何なる難事…。
世の行く末を憂うこと無きよう…全うすることじゃ。
案ずるな。行く末は用意されておる。
迷わなきことを…進めよ。」

（「…」は、聞き取れなかった箇所です）

シーーーン…。

思考停止…。

身震いしました。

そして、生かされている…

「俺は、生・か・さ・れ・て・い・る・ん・だ」と、強く思いました。

普段いくら本で読んだり聞いたりしても理解できなかったこと。それは、「人は生かされている」という本当の意味を知らないこと。感謝しました。心の底から感謝の念が湧き出てきて、目頭が熱くなりました。

これまで、自分自身の「生」について考えてこなかったことを反省しました。

● 母親の自殺からはじまった僕の人生

振り返れば、僕が生まれて1歳半で母親は自殺をしました。家で一緒に死ぬつもりで頭に袋をかけた状態でガスを一緒に吸ったそうです。それなのに、なのに、僕は助かりました…。救急車では、もう意識もなくすでにアウトの状態でぐったりして何も動かなかったそうです…。

でも僕の中では、母と一緒に過ごした時間はかけがえのないものだった思っています。お母さんありがとう。生んでくれてありがとうと思い

ました。

そしてある霊能者の方から、祖母が言われたことがあるそうです。「役割があるから、今は死なすわけにはいかない。多くの人のために責任の重い仕事をする」と言われたそうです。

今では亡くなった祖母。祖母に言われたことがあります。

「お前の人生は少し可愛そうだけど、何か役割があるらしい。だからクヨクヨしないで、胸を張って生きていきなさい」

おそらく仕事は「政治家」か「神の世界」のどっちかだろうと。そしてどっちも責任が重いからと、ずーっと心配していました。

その自殺の一件から、祖父母の家で一緒に住み始めました。ですので、僕はかわいがられながら育ちました。

でも幼少期に頻繁に起こったのが、心霊体験でした。

次から次へと、知らない霊が来ました。その度に、その霊の亡くなるときの苦しみとかに取り憑かれては意識を失ったそうです。暴れて家族中で抑えて止めたりしていたそうです。

特に小学校のときは、朝の食卓でも「昨日も大変だったよ、もう〜。しかし、あの力はどこから出てくるんだろうね〜」など話が出たりしました。

しかし、僕には全然記憶がないので笑っていました。憑依自体は小学校で終わったんですが、中学校ではポルターガイスト現象で部屋の本棚から本が飛んだり、もう止めてくれよという日々が続いたこともあります。大人になるにつれておさまっていき、高校の頃などはずいぶん楽しく過ごせました。

あるときのこと。すごく眠いときに車で1人運転して帰るんですが、そのときも助けられたことがありました。

夜中4時に田舎の海沿いから自宅に戻るかたちで運転していると、もう我慢できないくらいスーパー眠かったんですね。それで運転していたら、いきなり前にダンプカーが止まったのが見えたんです。何かトラブルかと思って車を停めて外に出ると、なーーーんにもないんです！

あれ？眠すぎて頭おかしくなったかと思い運転を再開しました。すると今度は、小学生の女の子が2人いたのでびっくりして迷子かなんかかなと思ったんです。それで車を停めて走っていこうと降りると、またなーーーんにもないんです！

そういうのが続いていくんです。

とうとう最後には、家の近くのさとうきび畑の、しかも収穫前の幹も太く大きくなって生えそびえているところに車が突っ込んでいったんです。

そして畑を突っ切ってその段差で車ごとドーン！と、別の畑まで飛んで行って止まりました。その車のスレスレ右２０ｃｍのところに電柱があり、わーーーっ！アブな！という感じで無事だったことがあります。

その次の日です。

祖母が霊能者の家に相談事があるから行きたいという話になったので連れて行くと、その霊能者の方が「あなた昨日、事故を起こしましたね？」と言われ、ハイと言うと、「神様がすごく怒っています！」と、延々と霊能者伝いに叱られたことがあります。

そういう内容などが自然と思い出されました。自分が知らなかっただけで、本当にずーーーっと見守られてきたんだな～と思いましたね。

● 仲良くしてくれた、あるお医者さんとのご縁

そして、またここから話を戻します。

その伊勢神宮の映像の後に場面が変わりました。僕があの邪馬台国というか、卑弥呼の時代なのか分かりませんが、古い時代に生きていたときのこと。髪型も耳のとこが縦に髪を結っていて、服は上下とも白でした。

そうすると次の瞬間に、スーーーッと自分自身に重なっていくんです。重なった感じは凜としているんですが、季節は夏でした。３ｍほど前に同じ服の人がいました。顔を見ると、なんとあのモンロー研究所セミナーで会った参加者のお医者さんでした。

なるほど、だからずーーーっと気になっていたんだなと思いましたね。

数字が「５１２」「５７６」って出ていたんですが、「５１２」はお医者さんの生まれ故郷の三重県四日市の郵便番号でした。あとの数字はまだ分かっていません。

そしてその後、本人にもそのことを話して仲良くなりました。その事がきっかけか必然かは分かりませんが、それから後はそのお医者さんのガイドが僕にコンタクトしてくるようになっていきました。

この後にエドガー・ケイシーなどが出てくるので、次回に書きます。少ししんみりしてしまった箇所があり申し訳ないです。今回も読んでくださってありがとうございます。

【モンロー体験記　第５話】　２００７年１２月２５日１６時５７分投稿

● お医者さんのガイドからの依頼

前回、お医者さんが伊勢神宮に出てきた映像の話をしました。その後の出来事から書きます。

まず、９期生の方はご存じだと思うんですが、そのお医者さんは本当によく寝ていました。ほぼ毎回のように寝てしまうような方だったんですね。

そして次のセッションで、ブリーフィングが終わったときのこと。さあユニットに行こうと思ったら、伊勢神宮で一緒にいたお医者さんの映像の方が、ガイドになっていたことが分かりました。理由は分かりませんが、過去生での本人はそのままガイドとして働いている場合が多いです。その過去生を過ごしたガイドは、僕にこう言いました。

「次のセッションでも寝るから、寝ないように握手をしてくれないか」

そう言われたので、いいですよと言いました。本人には「ガイドさんが次寝るから握手してあげてと言ってましたから、握手しましょう」と言いました。すると本人は、「大丈夫ですよ！」と言いながら、でも僕と握手をしました。そして、それぞれのユニットに戻っていきました。

余談ですが、そのお医者さんは本当にゆっくりした方でした。いわゆる癒し系ののほほんとした方で、本当に誰にでも好かれるであろう方でした。

● みんなを連れてフォーカス２１へ

そしてセッションが始まり、僕は予定通りエドガー・ケイシーとアカシック・レコードに行こうと、いろいろ意図するために心の中で言葉を選びながら唱えていました。

これから起こるであろう体験にドキドキしていたときのこと。お医者さんのガイドさんが来て、一緒に来てくれと言うんです。何かあるのかと思って、分かったと言い行こうとしたんですが、同室のHさんを連れて行こうと思ったんですね。

何かと人手もかかるだろうしと、いつも通り引っ張り上げて一緒に部屋に行きました。すると、ちゃんと寝ていました。

もうあれだけ言ったのに…冷静になり部屋を見ると、お医者さんのガイド2名、僕、Hさん、そして知らない男性（親戚関係の方だと思います）などがいました。

僕はガイドの横に立っていたんですが、ガイドは腕を組み何か考えているようでした。そしてみんなでそのまま連れて行こうということになったので、みんなで手を胴上げの体制にしながらいこうと思いました。

すると夜空を斜め…なぜ斜めかは分かりませんが、夜空を斜めに飛んでいました。すると、フォーカス21につきました。

僕はお医者さんの方を叩きながら、「分かりますか？ここはフォーカス21で、ガイドさんも一緒ですよ！」と言ったんですね。顔をしっかり見ながら。するとお医者さんの第一声は、少し含み笑いの表情でびっくりして僕を見ながら、「本当ですか～？」でした。

僕が「本当ですよ～！さっき寝ないでねって握手したのに、寝てたじゃないですか～」 と言うと、
お医者さんはずっと含み笑いをしながら「本当ですか～」と返してきました。

熟睡しているのか何なのかは分かりません。しかしフラフラしている状態だったので、さすがに僕も大丈夫かなと少し心配しました。場所は、トレーナーであるタイさん建築？のホワイトカフェ前でした。

僕はとりあえずタイさんに挨拶をして、みなさんを一番手前の丸いテーブルに案内しました。それから、白いカップにコーヒー、そして小さなケーキも全員分を僕が持ってきて並べました。

見るとお医者さんの右隣が空いていたのでそこに座りました。そのときの状況が面白かったので、少し説明しますね！

●カフェで見た鎧兜を着たガイドの日常

まず本人、右隣に僕、その隣にエドガー・ケイシー、左隣にモンロー、そしてモンローの近くに同室のHさん、また知らない男性もいました。
後は本人のガイドさんなんですが、一番離れたところに2人並んで座っていました（笑）。

なんで？と思いましたね。

そして、そのまま見ていました。みなさんコーヒーを飲んでいるんですが、お医者さんのガイドのうち鎧兜を身に着けている方がいきなり頭に被っているものを取ったんですよ！

えっ？と思って見ていました。頭に被っているものを取ると、禿げているんですね。そしてその頭に被る物の中には、手拭いみたいな白いものがグルグル巻きになって、頭のてっぺんの方に置いているんですね。

なるほど、擦れないようにするんだなと思いましたね。その他はヒモみたいなもので固定できるようになっていました。まだ見ていると、その布で頭を拭いているんです！？

居酒屋のおじさんと同じ行動をしていました（笑）。

ガイドと話したりするのは少し慣れていました。でも、ガイドの普段の行動というか、なんというか身に着けている物を脱ぐという行動などは一切予想もしていなかったので、正直驚きました。

そしてそのガイドさんは落武者みたいで、申し訳ないですが少しダサい感じでした。現実に戻ったとき、そのことはしっかり話しました(笑)。おそらくそのマイペースさが、今生の今のお医者さんの性格として出ているんだと思いましたね。

● イマジネーションを刺激し、ビジョンを見えやすくする

そしてもう1人のガイドさんは、初めは普通に腕組みをしていました。途中から本人のところ（僕はすぐ隣）に来て僕にこう言いました。

「思考が硬いということ。だからイマジネーションの部分を刺激すると、もっと見えるようになる」と言いました。そして続けて、「でも経験が少ないから、これからだ」とのことでした。

そして見ていると…本人の頭の上をパカッと開けて、頭の上を取ったんです。それで脳がむき出しになった状態で、右脳の“ある部分”を叩いたんです。

人差し指でトントントントンと刺激して、「ここなんだ」と言っていました。だから僕も、人差し指でトントントントンしてあげました（笑）。

灰色に近い色で、なんかシワシワですけど、各部分は弾力がすごくありましたね。右脳の半分より前に近い場所でした。

それをしているときにも、鎧兜のガイドさんはゆっくりコーヒーを飲んでいました。運んだときには気づかなかったんですが、湯気がでていたのでホットなんだと思います。

そのトントンをしているときに、お医者さんの肩をロバート・モンローが笑顔でトントンしたりモミモミしながら、「頑張ってね」と声をかけていました。

そして本人とガイドさんに、「じゃあ、後はみなさんでよろしくです！」と言いました。その後、僕とHさん、モンロー、ケイシーで席を立

ち、奥の席に移動しました。その移動の際に、周りを見ると知らない方、そして同じ９期生の方などそれぞれがガイドと会話をしたりしていました。

また、普通に９期生同士で歩いている方もいました。もちろん外人というか日本人じゃない方もたくさんいて繁盛している感じでした。

そして移動しているときにふと目がいくところがありました。見ると、Ｈさんとは違う同室の方がいたので、Ｈさんと一緒にその場まで行きました。ガイドと同じ格好をして、刀を持ち、とにかく険しい表情で１人でいたので、声をかけました。

そうしたら、びっくりですね！

全然本人に届かないんです、声が。近くまで行き何度も２人で名前を呼ぶんですが、全然ダメでした。この方とは最終日にいろいろと話をしました。

その際にガイドに教えられたんです。本人の波長という名の思考や、また言葉の選び方が関係してくると。そうするとガイドが接触を持とうとしても、粒子が細かいのと粗いのでは、通じないとのことでした。

波長をガッチリ合わせることができると、スムーズにお話したり映像が見えたりするそうです。また後で細かく書きます。

とりあえず時間がないと思って、Ｈさんにも声をかけて席に戻りました。

●ケイシーからのメッセージ　Ｑ＆Ａ

そして、僕の方からケイシーにいろいろ話をし、答えをいただいたので書いてみます。

Ｑ．１　アカシック・レコードには行けますか？

Ａ．１　行ける。

Ｑ．２　行けない人の理由は？

Ａ．２　思考の壁。

Ｑ．３　思考の壁とは？

Ａ．３　心と身体の神秘を知らないのと同じように、壁があるということ。

Ｑ．４　どうやったら外せるか？何が鍵になる？

Ａ．４　バイブレーション。

なんとなく難しいんですが、このように返事されました。

ケイシーはすごくキリッとした感じがあり、厳しい雰囲気があります。でも呼ぶと来てくれるので、助かります。しかし無口なのか静かです。

●アカシック・レコードで見た本のタイトル

その回答をもらった後で、アカシック・レコードに連れて行ってくださいと言いました。するとトンネルのようなところを４人で飛びながら移動しました。しばらくしたら、ある場所に着きました。

そこは、果てしなく先が続いていて奥は真っ暗でした。下と上に、ファイルを入れる棚みたいなのがぎっしりあり、番号が割り振られていました。僕の近くの下のところに開いていたところがあったので見ると、透明のファイルもありました。

また、紺の固い感じの革のカバーに閉じられているファイルもありました。その中で、未来を見たいなと思うと、いきなりこんな映像を見せられました。

東京のホテルの一室。僕が何か書き物をしていました。するとそこに坂本さん、ミッツィ、タイさん、ミーさんが来ました。それで「頑張ってよ！」などと言っていました。「本、書くの大変でしょ～？」などと坂本さんは笑っていました。タイさんは肩を揉みながら、「頑張ってね～」というやりとりがありました。

もしかして本を書いたりするのかなと思っていると、本が目の前に出てきたんです。そのタイトルを見ると…お恥ずかしいんですが「見えま

す。未来」

タイトルがやばいなと思いました。

お陰で９期生にも笑われました。でも絶対に出さないと思うので大丈夫です。

今回はここまでにします。読んでいただいた方に感謝します。続きは次回書いていきます。

感謝感謝。

【モンロー体験記　第６話】　２００７年１２月２６日１７時５９分投稿

●ある意識体の女性へ告げた未来

前回の続きから書いていきます。よろしくお願いします。

ある方がセッション始まってすぐに、体外離脱して意識体で来られました。

この方は、いろいろと自分自身の過去生についてガイドからメッセージなどをもらっていたみたいなんです。でもどうしても確信が持てないと、見た映像などを元に図書館などで歴史書を調べていた方です。

その方が来られたので聞くと、アカシック・レコードに行きたと言っていました。ではまたケイシーを呼んで連れて行ってもらおうと呼ぶと、不思議ともう近くにいました。

その女性と、いつものメンバーのモンロー、ケイシー、僕。トンネルをくぐって行くと、出るとポツンと1軒だけ家がありました。

へぇ〜なんだろうと思いつつ、とりあえず僕から先に中に入りました。すると、2階建てで完全に洋風の造りで、入口ドアの前は数段の階段がありました。そして階段はすべてレンガが施されていて、その両サイドには花壇もありました。中に入ると、絨毯で奥には暖炉があり暖かくなっていました。

2階へは上がらなかったんですが、入口から見て左奥の方には階段が右カーブを描きながら、濃い色で木目調の風合いがする手すりとともに、上へと伸びていました。そしてその家の中にいくつかのファイルを見つけました。

その女性に、何年が知りたいですか?と訪ねると、「来年」と言うので、「２００８年」と白の下地に黒で書かれたものを取り出し開けてみました。

すると、その中には大きさがＡ４のコピー用紙が１０枚ほどしか入っていませんでした。??…と思いながら、何か書かれたものを見ました。すると、字が小さいことに加え、僕自身の集中力がないのか、それとも他の方のファイルを見ることに対しての抵抗感みたいのがあるのか、画面というか僕が見ている映像がぼやけているんですね。

それでも本人に伝えないといけないので、集中して見ているとだんだんピントが合ってきたんです。それで見えたのが、「２００８年の年始め、1月に右足首のケガをし…」ってなっていました。

うわ～、なんか嫌なもの見たなと思いました。その先も文章はいろいろと続いていましたが、もう読めなかったです。

そして、このことは本人の顕在意識の中では自覚がないと思ったので、しばらく何も言わないでいました。

僕はいつもそうですが、「タイミングが合わないと伝えない」でいます。なぜかというと、本当に不思議に思うんですが、物事には必ず伝えないといけない場合と、そうでもない場合があります。

必要があれば本人がナイスタイミングで近くに来たりするので、そのときに話しています。というか、そうさせられています。

そしてそのときが来たので、「実はお話させてもらいたいことがあります！」と僕が見た事を話しました。すると自覚がなかったということで、興味深そうに聞いてくれてもらいました。聞くと本人曰く、今年もその足を2度ケガされていとのことでした。

「じゃあ、もう何らかのメッセージだと思うので気を付けてください」という感じで話しをしていました。

● ３Ｄパイプとともに見た浄化のカウントダウン

しばらくして、いきなり僕から見て女性の顔の右側に「粛清」という２文字が出てきました。

僕は、その事を伝えました。すると突然、女性の額から汗が噴き出してきて、何か青白くなっていったんです。僕は何かあるんだと思って意識を集中し、その原因を探るモードに入りました（とは言っても、第３の目に意識を持っていくだけですが）。

すると声を震わせながら顔を手で覆っていた状態からやっと話し始めました。

その女性は、今まで見せられた映像などから、いろいろ調べてきたそうなんです。ある過去世では、ある国の責任ある者だったそうです（名前も分かるとのことです）。しかしあるとき、多くの人を殺めてしまったとのことでした。

そんなような話を一生懸命に話してくれました。しかも、多くの人を殺めたのは、裏切るというか罠にはめるかたちで。

そのときには僕も真剣に聞いているんですが、その最中に起こっていたことがあります。実は、この方がお話しているときには、頭からジワ～～～っと黒い液体が出てきて、それ自体がゆーっくりゆーっくり上に上がっていくんですね！

浄化が始まったなと思い見ていました。

また同時にですが、パソコンのプロパティのスクリーンセーバーにある３Ｄパイプと同じ物が出てきました。黒の画面の中の黒の縁の中にぎっしり詰まったパイプが、もう絡まっているなんてものじゃない状態で、グルグル巻きに空間いっぱいいっぱいになっていました。

それはすぐに、本人の感情とか過去生の嫌なものと理解できました。

そのパイプの横には数字が書いてありました。１００からカウントダウンするように、次々に数字が９８、９７、９６…と下がっていきました。

そしてさらに本人の後ろに、別の本人の顔がハッキリと浮かんでいました。その顔ですが初めは真っ赤、そしてすぐに青くなりました。そして解放の瞬間です！

パイプ、数字、青い顔、黒いドロドロしたもののすべてが同時並行に動き続けました。そして最後には、パイプもなくなり、数字も０を表示し、顔色も明るく黄色になり、黒いドロドロとしたものは天井付近ですべて消えました。

そしてそして最後に、赤い宮殿みたいなところの真ん中でのこと。高貴な朝鮮あたりの髭も生えている男性が、両手を広げて両足も広げ気味にして、右手と左足、次に左手と右足を交互に動かしながら踊っているんですね。大笑いしながら。

うまくいったんだ！

そう思いましたね。心の底から、よかったですね～と思えた瞬間でした。いい体験をさせてもらい、こちらもとても感動しました。感謝です。

踊っている方と話をすると、過去生では百済の方らしく、僕が見た映像も朝鮮のどこかは分かりませんがしっかり一致したので、これで解決となりました。

ご本人さんの顔は、びっくりとニコニコが混じったようなお顔をされていました。しかしそれでも解放を実感されていて、お互いに喜び合いました。

●ガイドが教えてくれたヘミシンクでメッセージを受け取る方法

そして、次の方です。

この女性はすごくお話しやすい明るい方で、その方はセッション中に映像を見せられたんだと言っていました。夜５～６名でお菓子を食べながらお話していたんですが、見た内容ではガイドと思われる方が２人で相撲をしていたそうなんです。その２人は何度も何度も見せてくるそうなんですね。

しかも一方がわざと負けるようにしていたみたいで、でも本人さんはその意味が分からないとお話でした。僕がそれを聞いた瞬間に、本人の胸のちょっと下あたりに文字の大きさが縦５ｃｍほどで、白く浮き出てきてこう書いてありました。

「約束する。できる」

なるほどな！と思いましたね。ガイドが伝えようとしている意味。実はこれもヘミシンクで体外離脱するとか、メッセージを受け取るのに役に立つと僕が思っていることなんですが。

ヘミシンクに入る前には約束事と同じで、「次はこれこれこれをやります！」もしくは、「次はこうなりますから、もう約束したからね！」と強く約束事をすることが大事だよ、という意味です。

ということをすれば、もっとメッセージを受け取れますよ！ということだったんですね。モンロー研究所でも「意図することは、言葉がないほどに大事だ」と教えられますが。まさにそのことですね。

その方は一番最初に話した方で、６名のガイドがいる中での一番の方でした。一度話した際には、僕の方はほとんど忘れてしまいました。次回呼ばれたときには、その本人さんも一緒になって３人で話をして、いろいろなメッセージを伝えることができました。

そのときに印象深かったことがあります。お話の後半部分でガイドと本人さんの２人で抱き合って泣きながら喜んでいたことです。そのとき僕はすることがないので、２人が落ち着くまで普通に横のソファーに座っていました。

●水晶の先の柵あたりには妖精がいる

最後に少し変わった事をお伝えします。

モンロー研究所のプログラムで、午前中の間誰とも口を聞かず、自分自身と内なる会話をするセッションがあります。そのときに僕は、モンロー研究所にある水晶のあたりより先の牧場に繋がっているところとの境目の柵のあたりにずっといたんですが、不思議なものを見たんです。

小さな体に７～８ｃｍの長さの羽が片方ずつに２枚ずつあり、羽もとは白く、先は黄色をしていました。髪は金色で、顔はなんというか子どもの顔をしていました。柔らかそうな皮膚感！そんな感じです。

でも日本人顔ではないです。そしてオーブに包み込まれていました。体は白かったです。

そのときはぼーっと遠くを見ていたんですが、いきなり視線が合ったんです。びっくりして僕もじーっとしていると、後から何人?も集まってきました。なにもコンタクトはしていないんですが、でも不思議でした。

行かれる方は、その場所に行ってみてください。出会えるかもしれませんから。

では～今回は、そろそろお終いにします！

あぁーーー、ちょっと待ってください！

最後に一言、前回書いた言葉の使い方などについてです。帰ってきてからの出来事で参考にしてもらいたいことがあるので書きます。

●黒い煙となって見える悪口や文句

実は帰ったその日に、友達と少しお酒を飲んだんです。するとその友達が、いろいろと会社の愚痴とか、いわゆる悪口を話しているときに、本人の口から悪口の言葉と共に「黒い煙を吐きました」

不思議ですが、その黒い煙が自分自身を巻くんですね～！

しばらくは黒みがかった感じですごく嫌な感じでした。なるほど、こうやってガイドが接触できにくい状況をつくっていくんだと思いました。

僕もそうですが、なるべく悪口、文句、愚痴は減らしていきましょうね。

結局、自分自身が損するようです。これはあくまでも僕自身の考えなので、個人差はあると思います。

次回は、ガイドたちが時間をかけて僕の頭の中を工事？したことについて書きます。

読んでくださってありがとうございます。感謝感謝。

【モンロー体験記　第７話】　２００８年１月８日１６時２８分投稿

●はじめてモンローに出会ったとき

明けましておめでとうございます！

昨年は、たくさんの方々にお世話になりました。感謝感謝です。今年もどうぞよろしくお願い致します。

さて、残りの体験記を書いていきます。

今回は、アメリカに行く前の昨年５月に熱海で起こった事の中での一部を書きたいと思います。昨年５月に熱海に行き、初めてセミナーに参加しました。

最初は、いきなりセッション中にロバート・モンローが出てきました。誰か女性の方と暗闇の中で、こちらに向かって歩いてきました。そして、笑顔で握手をしてきました。そのときが、初めてモンローに会った日です。

手の感触が強くて、手と手がこすれている感覚もありました。また、温かさもあったので、こういう感覚自体が初めてだったというのもあり、不思議不思議と思って、まあそのときは終わりました！後になって考えると、それがアメリカから戻ってなお続く今の不思議現象へと繋がるとは夢にも思いませんでした。

その後は、もう勢いが止まりませんでした。

トイレで顔を洗っていると後ろに立っているのが見えたり、次の段階になると、今度はトイレの鏡に映って僕に向かって「やあ！」と言ってきました。トイレの便座の上に座って、両手を広げてみせたりしていました。さらに次の段階になると、今度は、顔を洗っているときに肩を両手でトントンしてきました（笑）。

さすがにビックリしました。霊に触られたのは初めてでしたから、ほとんどの方が同じ行動というか考えをするように、僕自身、ヤバイ！何かおかしいぞと思い悩むようになり、トレーナーのタイさんに相談しました。

すると、「それはお誘いだと思うよ」と言われました。詳しく聞くと、何かしら役割を持たせようとしている人には頻繁に嫌がらせのように出てくることがあるということでした。

「役割？ありえない」

僕自身はそうずっと考えていました。「そうだ、休もう」と思いました。熱海百万石ホテルの入口から入って左側にソファーがあったので、まずはヘミシンクをしている環境から抜けようと考え、１人、休み時間に逃げるようにして行きました。

しばらく座っていると、何名かの参加者がなぜかそこに集まり始めました。僕はなるべく話さないようにして意識からヘミシンクを忘れようかと考えていました。

すると、いきなり僕の目の前をホテルに出入りしている業者さんたちの行き来があることに気づきました。なんとなく見ていると、目の前で全員が過去生の服装格好に変わっていきました…。

他の方には見えていないようだったんですが、さすがに「ヤバイ！これは確実に自分の目に映っている」「大変だ！」と思いましたね。

● 吹き抜けの向こう側に、龍が現れた

もう疑う余地がないなと思った、その瞬間です。

「龍」が現れたのです。

目の前は下の階からの吹き抜けになって、吹き抜けの先には全面ガラス張り。そこからは海が見えていました。そのガラスを通り越して、「龍」が胴体の下の方を揺らしながら浮いて僕の方を見ていたんです。

その横にはモンローが龍の頭というか顔に手を触れながら、思いきりの笑顔で立っていました。

人生であれほどビックリというか、死ぬほどの思いをしたことはなかったです。なんというか、不思議すぎて、頭がパチンパチンと鳴っていましたね（笑）。

その別のときに龍を目撃した方が参加者の中に1人いました。それで少しは安心したんですが、その龍は僕が沖縄に帰る飛行機の横にも一緒に飛んでいましたし、普通の生活に戻っても車の上にいたりしたこともありました。

正直、信じられない方のほうが多いと思います。

ですが、どうにもこうにも証明しようがありません。ですので、江原さんじゃないですが夢物語として読んでください。でも僕の中では事実なので、本当にヘミシンクはすごい力があると思います。みなさんもCDを聴いてくださいね。

● 見知らぬ存在が突然始めた「脳の工事」

そしてその後、僕はもうここまできたらモンローもいるし、ヘミシンクはすごいかもしれないと思い始めていました。するとあるセッションで、またまた不思議なことが起こりました。

セッションで横になっていると、いきなりネズミ男みたいな灰色のフードを被っている人たちが来たんです。

すると、いきなり僕の頭をパッカーーーンと開けたんです！

えーーー？

殺されるのかなと思うぐらいビックリで、なんだぁ？と思いました。おそらくガイドたちは何かの相談事をしているのか、話しているんですね。

僕にはハッキリとは聞こえないんですが、でも確実に何かを話していました。そして次の瞬間に、電動ドライバーみないな？何か電気工具でダダダダダダーーーーってやるので、あーーーーもうダメだ！って。

しかも振動がすごいんですよ！体中震えてて、さらに僕を抑えながらやっているし、おーーーーい！ あのー、すいませーーーーん！やめてーーーー！

こんな感じでした。

この人たちはヤバイと思っていたんですが、でもなぜか恐怖心がないのでおかしいと思いました。そしてしばらく様子を伺っていました。そうすると、気づかないうちに眠っていたみたいで目が覚めました。

その瞬間に、「あれ？あれだけリアルだったけど…夢でもないし、どうなっているんだ…」と考えていました。でも、しばらくその事を忘れていたんですが。

●脳の工事で、ビジョンがさらに見えやすくなった

その直後から、ある変化に気づきました。

モンローが出てくると「文字」が見え始めたんです。

んんんんんんんんんん？これもまた不思議だと思い、もしかしてコンタクトが取れるのか？と考えました。するとその通り、思いで質問すると答えが戻ってきました…。

そしてまたセッションが始まりました。今度もまたいきなり頭が開けられて、僕は座っている状態になっていたんです。次は前回とは違って、頭の中に小人？らしき2名の方が、ピョンピョン跳ねながらまた何かを話してみたり、ダダダダダダー！とも聞こえてきました。

その後からは、「視よう」と思わなくても勝手に見えてくるようになりました。

もちろん家に戻ってしばらくすると落ち着きましたが、熱海にいるときはずっとオープン状態でした。正確にはその方のガイドに見せられていて、セッションでも同室の方の過去生をいくつも見せられたり、またその方に関わる方々の映像も見ました。

詳しくは次の機会にします。

● ある女性の未来の本人が教えてくれた未来

話は変わりますが、面白かったことがあります。ある女性の問題でいろいろと見えた事を話していたときに、本人とは別の本人が目の前に出てきたんです。それが何と未来の本人なんですね！

信じられますか？

ガイドでもなく未来の本人が出てきて、「〇〇さん、ありがとう！」と本人に手を差し向けて、よかったねと伝えてね」と言われました。そして、この方の将来住む家まで見せられました。

この事は家を買ったときに見たら検証できますね。でももう本当に人生でいろんな事を悩んでいたことも多かったとお話していました。決してオーラも明るい方ではなかったんですが、未来の本人さんは明るくて楽しそうでした。いろいろあった体験でも、興味深い体験となりました。

●シスターのガイドをもつ女性とのシンクロ

こういう事もありました。

ブリーフィング中に僕より前に座っている女性の後ろに、シスターがちょっと疲れているというか哀しい表情をして自分がガイドしている方のほうを見ているのが視えました。

最初は、本当にいきなりだったのでビックリしました。でもその女性とはお話もしたことがなかったですし、いきなり伝えるのも変だし、一番には、えっ？本当かなという不安がありました。だから本人には伝えず、とりあえずそのシスターの絵を僕のノートに描いておきました。

そうしたら次のセッションでは、誰か別の方とペアになってくださいと言われました。僕は動かずにいたんですね。そうするとその絵を描いたガイドさんのついている女性が、遠くから僕のところに近寄ってきて、「いいですか？」と言われペアを組みました。

本当にビックリだったんですが、すでに描いてある絵を見せたらその女性もビックリしていました。必然って本当なんですね！

そういう感じでいろいろ起こり始めたんです。あと、実は先ほどの脳の工事は熱海だけで終わったわけではないことが、モンロー研究所に行って分かりました。

次回書いていきますね。

今回も読んでいただいて感謝感謝です。

● みんなの中にある覚醒のサイン

最後に、僕は以前「２００８年からアセンションが始まる」という内容のことを書きましたが、たぶん本当だと思います。理由は、僕自身覚醒がどんどん進んでいますし、いろんな不思議体験も続いています。

そこでなんですが、みなさんの中にも「最近なんか自分変かも？」とか「最近怒らなくなったかも？」とか。

なんでもいいですが少し変と思うところがあれば、ノートに書いてみてください。今までは普通のことだと思っていた感覚的なことでもいいです。自分は直感がいいと思っている方、そんな方は実はそう思い込んでいるだけで、実はバリバリ会話をしていると思います。

試しに、質問をしたりしながらもっともっと注意深く自分自身の「思考に注目」してみて下さい。こういう事はヘミシンクでも言われる当たり前のことです。

ですが当たり前すぎて、見落としている方もいるかもしれません。しかし僕の体験としてではありますが、もし何か感じられた方は試してみてください。もちろん違う意見の方も多いと思うので、押しつけなどではなく、僕の中にある考え方の１つですのでご了承下さい。

【モンロー体験記　第８話】　２００８年１月９日１６時５６分投稿

● 宇宙ステーションの中で見た存在たちの仕事

前回少し書いた、５月の熱海での覚醒の始まりから１２月のモンロー研究所まで続いた脳の工事？の進み具合について書いてみたいと思います。

これまでもモンロー研究所での体験についてはいろいろ書いてきました。その中で、僕がなぜ映像を見せられるのか？そしてこの先はどうなっているのかが、不思議というか全然理解できていなかったので、それをなんとなく考えながらセッションに入りました。

するとすぐに、まず宇宙ステーションというか飛行機みたいな近代的な乗り物風の中にいました。その中はとても綺麗で、そして天井には薄くライトが点いていました。下は絨毯でとにかく近代的なカッコイイつくりのところにいました。

その中には、６名のスタッフらしき女性が全員白のポロシャツを着てそこにいました。全員が大きめのパソコンに向かい、ずっと何かを打ち込んでいました。その女性たちのパソコンの横には、次々に印刷した紙が重ねられていっているのを、後ろから僕は眺めていました。

そしてその６名の女性たちの目の前の壁には、薄型のテレビが掛けられていました。大きさでいうと畳１畳分ぐらいで縦にあって、その中にいろいろな方の映像が映されていました。

なんだろ～意味が分からないなと考えていました。すると１人の女性が席を立って、僕の横にあったＦＡＸに１枚の用紙を送信した瞬間、一番左の女性のテレビの画面に僕が映ったんです。

● 山積みになっていたこれから出会う方々のカウンセリング資料

なんだーーーと思って見ると、なんとそこには僕がカウンセリングであるガイドから受け取ったメッセージを同じ参加者の女性にジェスチャーを交えながら頑張って伝えている映像だったんです。

それも、映し出しているのはモンロー研究所の外からでした。その中に入って自分に近づいて、横から僕自身を見たので間違いはなかったです。

分かりにくいのでもう一度説明します。

おそらくあの状況というのは、僕自身が過去に戻り、僕自身のそのときにいた空間が映されているテレビを映像として見ていました。そしてその中に僕自身が入り込んで、僕が過去の僕の横に行き、隣でそれを見ていたということです。

でも、僕を認識する方は1人もいませんでした。

僕は思いました。ウワッ！もしかしてこれは…おそらく将来お話するであろうかもしれない方々なんだと。それにしても印刷したあの用紙の分厚さからいくと恐ろしい数になるんですが、本当にそんなことが起こるのかは今でも分かりません。

面白かったですね。左画面には、すでにお話した方が2名いました。少し過去の混じっていることになります。そして右側の女性たちの前にあるテレビには外国の方々が映っていました。

そしてその部屋がどこにあったかと言いますと…。

そうです、この空間は僕の頭の中だったんです。画面をスーーーッと引いていくと、僕は僕自身の頭の上に出て、上から僕自身を見下ろしていました。頭はパッカーーーンと開いてる状態でした。

● 未来をつくるユニークな非物質の存在たち

熱海で最初に基礎工事が始まってから半年。ネズミ男風の設計士プラス測量技術者などからスタートし、次の日にはピョンピョン跳ねていた小人の配線とかの電気工事担当者たち……ずーーーっと続いています。

今はなんと6名の美人スタッフまでいる状況です。僕の知らないところで着々と未来をつくっていると考えると夢があって少し面白いですね。

この映像の意味などは、日本に戻って1ヶ月もしないうちに理由が分かることになりました。また次の機会に詳しく書きます。

● 偶然のように出会うこと自体に意味がある

ここで少し、昨年5月の熱海でのことを書いてみます。

まだ一度もアクアヴィジョンの宿泊型セミナーに参加した事がない方、または1日しか参加したことがない方に少しヘミシンクに興味をもってもらえることを考えて、あくまでも僕が体験したことを書いてみます（僕はトレーナーではないので、あくまでも素人の体験です）。

熱海に参加したことは僕にとってすごく転機となりました。昨年の前半は自分自身、こんなことになろうとは夢にも思っていませんでした。参加してたくさんのいい友達にも恵まれましたし、人生の意味も知りました。偶然ではなく、必然の意味も多く知りました。

理由は、僕はモンローの意地悪で（笑）いろんな事が起こったからです。その中で興味深かったのは過去生での繋がりがある方たちは、やはり何かのきっかけで近づくんだということです（あくまでも僕が見ただけの話ですが）。

例えば、セミナーに参加しますと偶然のようにたくさんの方々が集まります。その中では実際に過去世を見ると親子、友人、恋人、夫婦などいろいろありました。でも特に夫婦だったからと言って、じゃあ今生でも必ず付き合いが深いのかというと、そうでもなかったです。

僕からみていて過去生で恋人であった場合などでも、お互い話しもせず、何も意識していない方々もいました。でも縁の力なのか、同じ場所に集まってはいるんですね。

その事自体に意味があるようです。もっと大きく言いますと、同じグループの魂なので近くに来てある程度縁ができることは当たり前ぐらいのことではないのかなと思いましたね。

● 出会ってすぐ意気投合した過去世で双子だった女性

ただ、過去世で双子だった方は始めから仲良かったですね！しかも顔も似ていました。２階のメイン通りの少し裕福な家庭に生まれて、家族４人で楽しそうにしているのを見せられました。その見たことを伝えると、本人たちは「だと思った」とは言っていました。だから感じる方はそれなりの意味があって感じるのだと思います。

おそらくその後の人生でも繋がりをもったまま行くんだと思いますね、そのお２人は。

またインドで行商をしていた女性は、その隣でたまたま一時期行商として自分の店を持っていた方との出会いをしていました。またはその行商をしていた頃にお香のようなものを好んで使っていたんですが、そのお香が好きというのは魂が覚えているらしく、現在の人生でも好きだと言っていた方がいます。

それだけではなくインドの布というか柄が好きということだったので、好みは繋がるかもしれないなというのが僕の感想ですね。またトレーナーの方の親子関係だったり、アクアヴィジョン公認トレーナーのタイさんとは僕自身インディアン時代の別の部族ではあったんですが、家族共々仲良くしていた頃があります。

● インディアン時代の過去世が今世に与える影響

僕の事で言えば、インディアン時代の名残が僕の経営する塾の名前に入っています。開拓精神との意味合いのある言葉ですね。

また、僕の結婚する前の恋人関係にあった方は、何度も何度も過去生で結婚していたのを見せられました。しかもその中で、僕はスペインの海賊時代にかなりの酒好きだったんです。家族に酔っぱらって暴力をふるって困らせている中で、その当時の奥さん（以前の恋人）に包丁のようなもので、家で酔っているときにお腹を刺されて殺されたことがありました。

殺された瞬間からの体験を、僕は追体験させられました。本当に心の底から申し訳ないという気持ちが残って、泣いている奥さんと子どもたちを上から眺めていました。今度生まれ変わったら、償いをしたいと強く思っていました。

そして、今生で初めて高校２年生のとき一目惚れをし（魂がそう思わせたんだと思います）、４年間想い続け３度目の告白でようやく付き合うことになりました（過去生のお陰で付き合うまでは相当苦労しました）。その後５年ほどお付き合いをしましたが、結婚はお互いに別の人としました。

もちろん今の奥さんとも恋愛の末の結婚なので大満足です。でもそういう不思議があるということを、少しでも多くの方に知ってもらいたいと思い書きました。

その当時の恋人との関係について。もちろん楽しい時間も多いんですが、何度も何度もなぜかうまくいきませんでした。僕さえ我慢すれば付き合いを継続させられると思い、我慢を続けている中（それでも海賊時代に与えた苦労に比べたらたいしたことはないんですが）、最後には別れてしまいました。

● それがカルマならば、苦労を苦労と思わず頑張ろう

その事の全貌は熱海で知ったので、今となれば何も関係はありません。しかし、少なからずカルマ（業）というものは存在し、何かのかたちで苦労するのかなというのが僕の体験としての考えです。

ですから、苦労を苦労と思わず頑張れというのは、そういう事なのかもしれません。あまり否定的にならずに文句や不満など言わず、その目の前の事をやらせていただくのが本来の姿です。また、神様という存在の計らいなのかもしれませんね。

少し難しくなりましたが、目の前の出来事を感謝しつつ淡々とやるとカルマが消え、次第に霧が晴れるように毎日が楽しくなるというのが理想なのかもしれませんね。

最後は少し硬くなりましたが、僕が単に思った事です。まだセミナーを体験していない方、もしくは継続中ではあるがしばらくヘミシンクから縁遠くある方など、いろんな方がいるとは思います。でも、僕自身はたくさんの気づきをいただいたので、多くの方にぜひ試してみて欲しいです。

今回も読んでいただいて感謝感謝です。

【モンロー体験記　第９話】　２００８年１月１１日１７時００分投稿

●モンロー体験記を読むと起きる胸のスースー感

みなさんに感謝感謝の毎日です。ありがとうございます！

今回は少し重要なことで、かつ早めにみなさんに伝えたい事を短く書いていきたいと思います。この内容に当てはまらない方もいるとは思いますが、ぜひご自身の日常を振り返ってみて、似たような事がないかどうかを確認していただけると幸いです。

よろしくお願い致します。

まず今までいろいろコメントやメッセージをいただきました。心より感謝致します。ありがとうございます。その中でご本人が怪しいと思われるからと、みなさんに公開していないメッセージのいくつかをご紹介させていただきます。

こういう方が一番多いんですが、僕のページに来て日記を読むとなぜか胸が苦しくなる。胸の所がワサッワサッしてくる。涙が出てくる。胸にアンメルツのようなスースー感が出る。

眉間がかゆい。いい香りが漂ってくる。汗が出てくる。同じ数字を何度も見る。１１分、５時５５分など。話した内容が「あっ！今話そうと

思ってた」とよく言われる。

そして、日記を読んだ日に買い物に行くと、買い物の品が家族3名とも同じ刺身、同じ銘柄のビール、同じちくわなど、なぜか買い物がほぼ被る。それが続くなど、すごく面白いです。

初めは僕自身、気のせいかもと思っていたんですが…増えています。

詳しい理由は分かりませんが、増えているようです。少し違いますが、僕は最近、友人宅に行く前に焼き鳥を見せられました。実際に行くと焼き鳥のごちそうが並んでいました。また塾の移転を考えていて、あの店舗空いたらいいなと思うとすぐに空きました。

● 自分をオープンにすると、何かがはじまる

メッセージをいただいて、その方々に返信しているときに毎回言葉を見せられます。その内容は

「意識のフタを外すこと。それはすべてへの繋がり」

です。

簡単に言いますと、自分をオープンにしてしまうんです。それによって、同じような体験をしている方がいるんだ！となります。自分自身が認識としてその世界の事象を認める事が、結局はガイドと繋がっていき距離感が縮まるということです。

もともと常にガイドも一緒なのは変わりありません。でも交信するとか繋がりを強く実感するには何かしらのきっかけが必要ですよね。ですからそのきっかけとして、コメントを書いてオープンにすることで何かが始まるということだと思います。

あくまでも僕が聞かされている事なので、正解とか不正解は分かりません。でも増えているところをみると、何かしらガイドさんはきっかけを気づくようにしていると思います。

お心あたりのある方は実行してみてください。

僕自身も、一部批判的なことも言われています。ですが気にせず書いています。不安のある方、勇気をもって頑張って公開してください。

短いですが、今回はしっかり前の内容の重要性を伝えたいので、これ以上は次回書いていきたいと思います。

今回も読んでいただいて感謝感謝です。

【モンロー体験記　１０話】　２００８年１月１５日１７時９分投稿

●伊勢神宮の真相を探る旅

今回は、前に見せられた伊勢神宮の内容の真相について書いてみます。

前回書きましたが、僕はお医者さんをしている方と同じ場所で過ごしていたときがあったようです。時代的にはかなり古く、服装も何もかも古かった映像を見せられました。そのときに伊勢神宮のいろんな映像を見せられました。

しかも僕は、伊勢神宮がどこにあり、またどのくらいすごいかとかも全然知りませんでした。ですので、セッションの後に他の参加者に聞き初めて知りました。内宮・外宮の２カ所に分かれていることなどの検討もつきませんでした。

アメリカから日本に帰る飛行機の中でのことです。

僕はビールを飲みつつ楽しく過ごしていると、いきなり「明日、神社に報告に行くように」と、誰かに言われました。正確に言うと、頭の中で言われると同時に文字を見せられるんですが、そのときはビールを飲んでいたので、んっ…？

モンロー研究所からバスで３時間、ダレス国際空港から１４時間、成田から沖縄まで３時間の計２０時間。ほとんど乗り物の中にいましたの

で少し疲れていたんですが、その日のうちに我が家まで無事到着しました。

そして次の日、朝起きてすぐに「神社に行かなきゃ」ということを思い出しました。そうか！と思い、神社に行きました。奥さんと２人で行きお参りしようとお賽銭を入れさせていただき、手を合わせ「なぜか分かりませんが、報告に行けと言われてたので来ました」と思うと…「いずれ時が来る」と言われビックリしました。

拝殿の方を見ると何もなく、あれーーー？…モンロー研究所の影響でおかしいかもしれないなと思いました。帰ろうとして歩いていると左側にも拝殿があったので、何となくここにもやってみようと、奥さんにも話し、２人で手を合わせました。

すると今度は、誰かが笑っているんです。

知らない人でした。歓迎されているような事は理解できても、でも不思議すぎてどんどん気になってきていろいろ考えていきました。インターネットで神社とは何をどういう風にしているところなのかを歴史などから調べていくと、アメリカで見せられた伊勢神宮に行きつきました。

その映像の中には僕が見せられたものもあり、さすがにもっともっと気になってきました。それでアメリカから戻って６日目には確認をするために伊勢神宮のある三重県に行きました。

初めに書いたお医者さんも一緒に行ってくれるということになりました。仕事を調整してくれたんですが、１週間も休んでいたこともあり、また僕が三重に着くのが急いでも夕方５時頃になるので、時間的にも厳しく今回は僕のみで行くことにしました。

ですが、宿泊した神宮会館の休憩室に掛けられている絵でお医者さんとの関係は理解できました。

● 天照大神に仕える者たちの絵と深夜のラップ現象

卑弥呼時代のような、あの耳のところに縦に髪をたてるヘアスタイルで出て来た映像そのまんまの絵が描かれていました。首には勾玉がかけられていて、そして上下白の服、髭もあり、ただ1つ違うのは、そこに天照大神が一緒にいるということでした。

その絵は、神々を描いたもので天照大神に仕えている者たちでした。これはどういうことなのか僕自身いろいろ考えました。

例えば僕とそのお医者さんは天照大神のご加護で何かこれからやるのか？もしくは、信仰することを必要としているのか？など、いろいろ考えたら答えが出るというものでもなく、とりあえず温泉に入ったりしながら、次の日の準備をしつつテレビを見ながら旅を楽しんでいました。

その中で普通の畳間の部屋をデジカメに写すと、たくさんのオーブが写るんですね。何だ～と奥さんと話しながら何度も写したりしました。どこも同じかと思い休憩室なども写しましたが、結局は部屋でしかオーブは写りませんでした。

これは何かあるなと思いました。

次の日の朝6時半には2時間かけて神宮会館の職員の方が伊勢神宮の内宮（天照大神）の案内をしてくれるというので、それに備えて早めの

就寝にしようと思い寝ました。

バチッ、バチッ、バチッバチッ…。

眠れません…ラップ音がすごいんです！

頭の中でバチッ、部屋でバチッ！やっぱりここは普通じゃないなと思いしばらく目を閉じたままジーーーっとしていました。すると、ある映像が出てきました。

夕暮れ時で空も赤みがかっていて、穏やかな時間の流れの中でした。僕は寝殿造りの貴族の家風の家の庭側にある廊下みたいなところに普通に座っていました。中を見るとすごい金色で高価そうな屏風で部屋を仕切られている畳間の部屋に、貴族風の男性が座っていました。

黒の長い帽子みたいな昔の服装で高貴な感じを受けましたが、なぜか何も話さずでした。すごーく懐かしい気持ちが出てきて、僕はそのときに「ここを知っている」と思いました。

そうこうしているうちに途中で寝たりするんですが、その貴族風の男性は顔だけ、何度も目の前に映像が出てきたりしていました。

● 天照大神の拝殿で起きた不思議な出来事

そして朝、神宮会館の方の案内で２０数名で神宮参拝に行きました。

いろいろな歴史など、いろいろな事を教えてもらいました。第一鳥居、第二鳥居と歩き、中心で天照大神の説明を受けました。天照大神とは、天皇の皇祖神でもあり、また日本の八百万の神々の頂点に位置し、実質遠い昔々の世より日本をお守りしているという説明を受けました。

そこで鏡、剣、勾玉などの説明を受け、なるほどな～と思いながら、やっと天照大神の拝殿に着いたんです。

そこには警備員の方もいて、写真撮影はダメでした。神宮会館の方の案内で順番にみなさん手を合わせはじめました。

その拝殿はすごく後ろの方にあり、手を合わせると門みたいになっていました。さらにその入口には白い布生地がカーテンみたいに上から垂らされていました。そして最後、僕の順番になりました。手を合わせ、「アメリカでここを見せられたので来ました」と心で思うと

「待っておったぞ」

と言われました…。気のせいではと思った瞬間に、隣にいる奥さんが「ウワーーーー！すごーーーーい」と小さい声で言うので目を開けました。すると、目の前の布が全部風で僕の頭のとこまで上がってきて、僕と本殿の入口が正面から顔合わせになるかたちになりました。鳥肌が立ちました。

ええええええええーーーーー…マジーーーーーー…？

その瞬間に感謝しました。「分かりました。ありがとうございます」と。

●映像で見せられたところは、すべてここだった

今まで見せられていたことの意味が、ここですべて繋がりました。興奮状態でその続きを歩きながら、最後あたりに来てみると、やっぱりありました。

映像で見せられたところがあちこちにあり、「禊（みそぎ）」と見せられた場所は伊勢神宮の内宮の個人々々をお祓いしてくれる場所ということも分かりました。

天皇の家紋などもそこにあり、どう考えたって偶然とかいうレベルではないし、疑う余地もなかったです。僕の力ではなく、見せられる力が大きいのだけは理解できました。

その場所でお祓いをし、無事見せられたことはすべて終了しました。

神社ではお祓いのときに、祝詞（のりと）を神主さんが詠みます。調べるとそれは神様に対しての言葉だそうで、最初に祓言葉（はらえことば）です。その次から、神社拝詞、龍神拝詞、心願成就祝詞、などなどたくさんの祝詞を詠みながらやるそうです。

実は僕は、ある縁があり伊勢神宮から戻ってから祝詞の勉強をしています。

理由は僕にもよく分かりませんが、そうしなきゃいけないような気がしているというだけですが。青森の神様と言われる方や陰陽師など、何かしらいろんなところで祝詞をあげているのを見聞きするようになったのも、不思議な縁だったので、それを今まで続けています。

それはあくまで僕自身の興味からですので、お勧めするわけではありません。その出来事の中で昔あったことを思い出すんですが、僕が２２歳か２３歳の頃の話です。正月だし、お参りに行こうと友達と神社に行きました。

やっぱりお祓いとかもしようよ！ということになりました。神主さんにお祓いしてもらったのですが、終わったときいきなり「神主になりませんか？」と言われました。「え？いや仕事ありますし無理ですね～。でもなんで僕にそう言うんですか？」と尋ねると、「なんとなくですが」と言われました（笑）。

なんだそれ？と思いました。しかしその神主さんは、何かに言わされたのか何かを見ていて言ったのかもしれないなと思いましたね。

もうここまで来ると信じてもらえないかもしれないという心配を通り越しています。どう表現したらいいのか悩みますが、あくまでも僕自身の体験で押しつける気持ちはありません。みなさんご了承ください、よろしくお願いします。

● 波動とは、言葉 ― 「自分自身が鏡になること」

前に粒子の話をしましたが、その粒子というのは「波動」です。その波動とは、結局は「言葉」ではないのかなと考えています。

ある時、ガイドに質問しました。

「いろいろな映像を見せられるけど、詳しく正しく誰かにメッセージを伝えるには、綺麗に映像が見える必要があります。綺麗に見えるようにする方法には何がありますか？」

と聞きました。すると答えは

「自分自身が鏡になること」

と言われました。いろいろな映像を見せられたんですが、まとめます。「自分自分を磨き、ピカピカにすることによってしか綺麗には写らない！」ということでした。なるほどと思いましたね。

鏡でも完成していないものはギザギザが残っていては綺麗には写りません。鏡になることのスタートは、まずは言葉なんだとも思いました。

帰ってきて一緒に飲んだ友人は、文句を言うことによってオーラに自分で黒い煙を混ぜ濁していましたし。

みなさん自身のやり方で自分を鏡にしていってください。

僕は、その伊勢神宮に行って以来、面白い体験をするようになっています。次回書いていきたいと思います。

今回も読んでいただいて感謝感謝です。

【モンロー体験記　最終話　―覚醒のかたち―】　２００８年１月１７日１６時３６分投稿

●家のトイレにいた、ある友人の亡くなったおじいちゃん

みなさん、長々と日記を読んでいただいて感謝感謝です。今回で最終話とさせていただきます。ありがとうございました。

この話は、１２月の末の出来事です。

僕の友人が家に遊びに来ていたときのことです。お酒を飲んでいるとトイレに行きたくなりました。トイレに行くと、知らないおじいちゃんがいました。いるといっても頭の中に、です。誰かなと思って友人に特徴などを話すと、数年前に亡くなったおじいちゃんでした。次に、こう見せられました。

まずおじいちゃんが船に乗り、沖の方に向かって手漕ぎしていきます（沖縄ではサバニといいます）。ゆったりした感じで漕いでいて、自分は大丈夫だよ！と言うんですね。しかも海のそよ風も涼しく気持ちよさが僕自身にもかなり肌の実感としてきました。

それで友人に聞いてみると、実は１人で椅子に座りながら亡くなったそうなんですね。それで親族一同、本当に成仏しているのかをずっと心配しているということでした。そういうことであれば、このおじいちゃんは全然大丈夫だから心配しなくていいからとお話しました。

それから内容が、この友人自身のことに変わりました。

おじいちゃんが、言うんです。この友人が今出発の時期に来ていて、人生の本当の転機は１年４ヶ月後あたりに来ると！それを話すると、ちょうど誕生日があるということなので、誕生日を境に新しい運気になるんだねと話しました。

またお金を積んで見せるんです。今その友人はリストラにあったばかりでつらい状況にいるんですが、それでもそのおじいちゃんの強い思い出を守ろうとしているのが見て取れました。後は細々とした指示を見せられたのでそれを伝え、おじいちゃんは終了。

● 体外離脱で体験した死にゆく人の意識

次に、お父さんが出てきて本人の頭を撫でながら話をしました。お父さんは、友人が小学校６年生のときに急に亡くなりました。友人の中で

は厳しくて怖い人だったから全然悲しくないとか話は聞いていました。

実は友人は甘えたくても、お父さんは仕事が忙しい。そのせいで飲み歩くのが常で、なかなか家でゆっくりできなかったとのこともあり「自分はあまり可愛がってもらえなかった」との悔やみが強かったんです。しかし、そのときのお父さんは必死に僕に映像を見せてきました。

小さいときに庭で一緒にキャッチボールをして遊んだこと。友人は小学校低学年ですが、すごい笑顔で２人で楽しそうでした。

それから家の裏で転び、膝と額部分から出血したときもすごく心配して手当したこと。一番に驚いたのは、亡くなるときに家族全員に見守られながら逝くんですが、兄弟４人とお母さんがいる病室で声も出ない状況で、体も動かない状況で最後の最後まで心配していたのが、その末っ子の友人のことだったんです。

そのときのお父さんの身体の状況を僕は体験させられました。目には涙で、もう自分が死んでいくという認識はちゃんとあり、意識がすーーっと引いていく中で、最後の最後に左手の小指を少しだけピクンと動かしたんですね。

最後と理解しながらも、生きようとするお父さんの強い意志を感じ僕自身涙が出ました。

家の中で肩車したことなど、友人も忘れていたようなたくさんのことをお父さんの言葉で、僕経由で友人に伝えました。すると、今まで可愛がられていなかったという寂しさから、こんなにも愛されていたんだという強い愛情を感じて、声を出して泣いていました。

プライドの高い友人です。泣くとかいうのは考えもしなかったんですが、お父さんも友人も凄く喜んでくれて僕自身も凄く嬉しい体験ができ

ました。

●離婚・不登校・居候…問題を解決する死者との対話

その後は、お母さんのお母さんも来ましたね。おばあちゃんです。そして今度は大晦日に、友人のお姉さんが一緒になって訪ねてきました。そのときは、もうこれでもかとばかりに、これとこれとこれと…とドンドン伝えてくるんですね（笑）。

よほど心配だったんですね～。この方は結婚して離婚し子どもが1人（中学3年生）なんですが、いまだに母親の責任の重さを分からずに、彼氏とお付き合いだけして結婚はしていません。このおばあちゃんは、こう言っていました。

「この子は子どものことはかまわず遊びまわって、でも自分ではちゃんと母親の役割は果たしていると思っているが、とんでもないよ」

その辺から始まり、言葉の悪さ、約束を簡単に破る、人の話の腰を折る、そのせいで子どもは、5年間の不登校になっていると（その子は私の塾に入塾し1年で、完全に不登校から立ち直りました。学校でも成績2位の表彰を受け、今では順調に学生生活をしています）。

また寂しさから、家がないという友人を可愛そうと居候させて。しかし今度は逆に文句ばかり…。

みなさんこういうときは、どうしますか？

話しにくいですね…でも言葉を選び、お話しました。最後には居候の方も家から出さないといけないということもお話し、おばあちゃんからの伝言は終了。ですが今度はお父さんが来てこう言うんですね。

「この子は自分が死んだときに一番上だったから。これからどう生活していくのか、１８歳で不安の中で家を出て働いて、なんとか自力で将来をつくろうとしてきたんです。だらしなさもあるけど、でもこの子はとても遊びたい時期に親を亡くして、大変なプレッシャーを背負った。だから、本人だけが悪いわけではないんです」

やっぱり親なんですかね～。おばあちゃんは叱り、お父さんはかばう。面白いです。その後はおじいちゃんが出てきて、今度はお金の心配をしていました。

また、一緒に居候している方の波動があまりにも悪く、それを両手で覆い被さりながら守っているのを見せられました。だからそこはしっかり話をして、なるべく早めに家を出てもらうようにしてくださいと言いました。

すると今度は、その居候の方のガイドさんが出てきました。その方はお姉ちゃんの紹介で同じリサイクルショップに働いています。その職場に入れてくれたことにはすごく感謝していて、店を動きながらもずっと頭の上には「感謝」という言葉がついてまわっているんです。

炊事洗濯などもお互い協力しながらやっているんですが、台所に立って皿洗いをしているのを僕は横から見ていると、小さく舌打ちしながら目がイライラしていて、心の様子とかいろいろと見せられてきました。

これはもう家に入れたことの感謝を忘れてしまったというのが、一瞬にして分かりました。そしてガイドさんは、こんな趣旨の話をしてきました。

「この子は自分の実の子どもを施設に預け、自分は彼氏が好きという理由から子どもは邪魔になると考えて、何も反省もせず日々の生活をしている」

そう話してきました（それは事実でした）。

それからガイドさんは、僕に冬の寒い中手にしていた白のふかふかの手袋を手渡してきました。今までこの家族には、とても温めてもらいましたと。そのことを心から感謝していると伝えてきたので、本人たちに伝えました。

しかしガイドさんは本人のためにも、そして施設にいる子どものためにも、この人を家から出してください（初めは他の方の家に居候するが、結局は自分の足で立つようになるから大丈夫だ）と伝えてきました。

後の細かい箇所は省きますが、こういう流れがあります。この友人、お姉さん、居候の方（女性）はしっかりと話し合いをし、今将来に向けて歩き始めているそうです。僕の中ではとても興味深い出来事で感謝感謝でした。

● 視えた子どもの未来に導く塾での指導

ですがさすがに本気で霊視するのは、やり方に問題があるのか本当に疲れてしまいました。やりすぎるとクタクタになることも学びました。あと、人が多いところではスイッチを完全にオフにしないと波動の関係か何かで、体調が悪くなります。これから時間をかけて勉強していきたいと思いました。

そして～ここに出てきた方たちはすべて、モンロー研究所で見せられた頭の中の６名の女性スタッフの前のテレビに写っていた方々でした。実現が早くてビックリです。

最近の僕は、生徒の未来の姿が見えます（証明できませんが）。だからそちらに導くように話をしたり、本当に興味を持つのかどうかそれとなく聞いてみたりしています。入会する生徒も前もって見えてきます。またある企業などは、玄関に「閉鎖」と映る場合もあります。

何かといろいろ変わってしまいました。

●すべては人類の意識向上のために

そして僕の未来は…どうやら僕は「アセンション・アカデミー」という機関を創り、意識の向上のためにいろんな事をやっていくようです。授業準備の最中にいきなり映像を見せられます。←は、ある新聞の広告です。

アセンション・アカデミー
子どものカウンセリング（親同伴）
３５，０００円（２ヶ月間定期フォロー）…」

今特に不登校などの子どもが増え、病院でのカウンセリングでは対応できないものも多いらしく、そのために僕もやりなさいとのことです。後々は、大人もカウンセリングするようになるが、今は子どもに重点を置くこと。カウンセリングから後は宿泊型セミナーの開催により意識向上を目的とし活動するとのこと。

「こちらが全部サポートするから心配はない」と言われました。

そのために塾をさせたとも言われました（笑）

なるほど！と思いました。しかし、そうは言われても…少しは心配です。よく分かりませんが、勝手に見せられて初めは戸惑いましたが、今はいろいろ考えながら準備をしていこうと考えています。

はじめは沖縄で事務所などのカウンセリングをできる部屋を賃貸し（ここでやりなさいと住所を見せられたので見に行きました）、少しずつ少しずつひっそりと、まずは活動していきます。

そして、いろいろな場面に出てきたあの眠り姫お医者さんは、僕が東京オフィスを開設し活動をスタートしたときから何かしら一緒にやるそうです。

え～っと、ここまで長い長い日記を読んでいただいいてありがとうございました！

誤字脱字、いろいろご迷惑をおかけしました。そしていろいろ教えていただいたりして勉強になりました。モンロー体験記はここで終了です。

感謝感謝。

これからは普通に何かあれば日記書きます。みなさんと楽しくやっていきます。よろしくお願い致します。

ありがとうございました！

前里光秀プロフィール（２０１９年3月現在）

１９７７年5月３１日、沖縄県宮古島市出身。生後1歳半で母親を亡くし、それをきっかけとして幼少期からたびたび目には見えない存在を目撃する。勉学に励んだが大学進学はせず、教育者に憧れ塾の講師となる。

２００２年１０月より、沖縄県にて小学生から大学受験までを対象とした個別指導学習塾を創設（現・株式会社 前里光秀学園。２０１８年3月、下記に述べる病院では対応できないヒーリング依頼の受け入れと事業拡大のため全８教室を閉鎖。現在は、3泊4日で学ぶ2時間スリーパー教育など開催中）。

２００７年7月、亡くなった母親に会いたい一心で参加したモンロー研究所のヘミシンクセミナー参加中に、突然、体外離脱がはじまる。

３００回以上の体外離脱体験により、非物質の存在（死者や「医師団」と名乗る宇宙意識など）より宇宙のメカニズムを学ぶ。

２００８年6月より、チャネリング情報によるプログラム化されたスピリチュアル実践ワークショップ開催（『体外離脱専門プログラム』他、計２４回、約１２０日間）。

２０１０年2月より、ラジオ番組『ワクワク♪スピリッツ』放送（２０１８年3月に終了）。
２０１０年１０月、潜在意識とスピリチュアル研究の前里光秀研究所を創立（現・株式会社 前里光秀研究所）。
２０１１年１１月、宇宙意識ＳＡＮからのコンタクトをきっかけに生まれる前の約束を思い出し、異文化交流を目的としたフルトランスチャネラーとなる。
２０１６年９月、不慮の事故により自身の子どもが顔面から肩にかけて大やけどを負う。治療法としては皮膚の移植手術しかないと言われた症状であったが、体外離脱・透視・チャネリング情報を総動員することで完全に癒す。それをきっかけに、病院では対応できない病気や痛みを癒すスピリチュアルヒーラーとなる。また、それまでの創造理論をベースとしたヒーリング理論の体系化に成功し、それからはヒーラーの育成にも力を注ぐ。
２０１７年7月、一斉遠隔ヒーリング『１００人セッション』開催。その後、徐々に人数を増やしていき２０１９年2月、３６３２人参加の一斉遠隔ヒーリング『３０００人セッション』に成功。
スピリチュアルカウンセラー・体外離脱能力者・透視能力者・チャネラー・フルトランスチャネラー・ヨガ実践家・2時間スリーパー・不食実践家・投資家・教育講演家など。現在は他に、新宿区神楽坂を中心にヨガスタジオ『３３３ＹＯＧＡ』と加圧スタジオ『３３３ＧＹＭ』（合計４店舗）、食事トレーニング専門会社、沖縄にて3泊4日で学ぶ一流習慣教育『前里社長のプロデュース大作戦』、1対1のお金の教育『ダ・ヴィンチ・プログラム』などを含む5社経営の起業家でもある。趣味は、国際政治研究と芸術。「３３３」とは愛称で、「ミツさん」と読む。